



日本現代映画祭開催！

2018年7月17日，ハバナ

7月19日から，在キューバ日本国大使館は，ファブリカ・デ・アルテ・クバーナ（Fábrica de Arte Cubana (FAC)）及びミラマル映画劇場の協力を得て，日本の近年の映画作品の上映会を実施します。

コメディや社会派ドラマ，歴史物やアニメまで，多様なジャンルの映画の上映を予定しており，長年キューバで愛されてきている古典映画との比較も含め，それらの鑑賞を通して，現代の日本の姿を紹介することを目指しています。

まずは **FAC** にて上映を行い，右上映期間終了後は，すべての方々が映画を鑑賞できるようミラマル映画劇場にて，別の時間帯及び日程で同じ映画を上映します。

上記2箇所での映画上映会は入場料無料です。映画の内容，日程及び時間を記載しております添付のプログラムをご参照の上，是非お越しく下さい。お待ちしております。

- * ファブリカ・デ・アルテ・クバーナ（**FAC**）：（住所）Calle 26 esquina 11, Vedado。
18歳以上のみ入場可。
- * ミラマル映画劇場：（住所）5ta Avenida y 94, Miramar, Playa。
年齢制限なし。

在キューバ日本国大使館
広報文化班

電話: (+53) 7204-3355, 7204-8904

メールアドレス: cultura@hv.mofa.go.jp
www.cu.emb-japan.go.jp

テルマエ・ロマエ 108min (2012)

7月19日(木)7:30pm (FAC) / 7月31日(火)7:00pm (ミラマル映画劇場)

古代ローマ帝国の浴場設計技師ルシウスは、現代日本の銭湯へタイムスリップしてしまう。そこで出会った日本文化をローマへ持ち込み大成功をおさめたルシウスは、皇帝から大浴場の建設を命じられる。

誰も守ってくれない 118min (2009)

7月20日(金)7:30pm (FAC) / 8月1日(水)7:00pm (ミラマル映画劇場)

少年犯罪をテーマに、加害者の家族とそれを保護する刑事の苦悩を通して現代社会の恐ろしさを描いた骨太ドラマ。長男が殺人事件を起こし、マスコミの餌食となった船村家。勝浦刑事は、錯乱する長女・沙織を保護するが、その行動は逐一ネットで暴露されていた。

書道ガールズ!! わたしたちの甲子園 120min (2010)

7月21日(土)7:30pm (FAC) / 8月2日(木)7:00pm (ミラマル映画劇場)

町興しのために、“書道パフォーマンス甲子園”と題したイベントを開いた愛媛県の高校生の実話に基づく青春ガールズムービー。愛媛県四国中央市は紙の生産高では日本一。だが不況の影響で商店街は閑散としており、高校の書道部部长である里子も心を痛めていた。そんなある日、里子は臨時教師の池澤が、音楽に合わせて伸び伸びと大筆を操る姿に衝撃を受ける。

やじきた道中 てれすこ 108min (2007)

7月22日(日)7:30pm (FAC) / 8月3日(金)7:00pm (ミラマル映画劇場)

泰平の世を謳歌する大坂で「てれすこ」と呼ばれる不思議な魚が捕獲される。なんでもそれは万病に効くらしい。人気の花魁・お喜乃と一緒に足抜けを手伝ってくれと頼まれる弥次さん。芝居中にヘマをやり役者をクビになった喜多さん。ふたりはひょんなことで再会し、これにお喜乃も加わって、3人は江戸を出て旅に出る。

幼獣マメシバ 106min (2009)

7月26日(木)7:30pm (FAC) / 8月4日(土)3:00pm (ミラマル映画劇場)

35歳で無職、生まれ育った町から一步も外へ出たことのない二郎は、ある日、赤いスカーフを巻いたマメシバの子犬・一郎に出会う。それは家出中の母親が、自分を探させるために送り込んだ子犬だった。

ゲゲゲの女房 119min (2010)

7月27日(金)7:30pm (FAC) / 8月4日(土)6:00pm (ミラマル映画劇場)

おなじみの妖怪漫画「ゲゲゲの鬼太郎」の作者である水木しげると、彼を支えた妻・武良布枝の若き日を描く夫婦の愛情物語。昭和36年。島根に住む29歳の布枝は、戦争で左腕を失った漫画家の茂と、お見合いからわずか5日で結婚。上京して底なしの貧乏生活に耐えることになる。

星を追う子ども (アニメ) 116min (2011)

7月28日(土)7:30pm (FAC) / 8月5日(日)3:00pm (ミラマル映画劇場)

ある日、父の形見の鉱石ラジオから聴こえてきた不思議な唄。その唄を忘れられない少女・アスナは、地下世界アガルタから来たという少年・シュンに出会う。2人は心を通わせるも、少年は突然姿を消してしまう。

武士の献立 121min (2013)

7月29日(日)7:30pm (FAC) / 8月5日(日)6:00pm (ミラマル映画劇場)

主君の食膳を調える“包丁侍”として、江戸時代に加賀料理の基礎を築いた舟木伝内。その息子に嫁いだ女性の視点から加賀藩の内幕を描いた人情劇。奥女中の春は料理上手だが気が強く、1年で離縁された身。だが加賀藩の包丁侍・伝内に望まれ、跡取り息子の安信と再婚すると、料理が苦手な安信を鍛え出す。